

① 道 路

道路を常に安全で快適な状態に保つために、次のような業務を実施しています。

○道路のバトロール

○路面の清掃

○路面の点検

○道路の除草

○損傷した路面や側溝の補修

○橋梁の点検および補修

○道路照明や道路案内標識の点検及び補修

○道路の除雪

路面の清掃

橋梁の点検

② 河川・砂防

河川を常に安全で正常な状態に保つために、次のような業務を実施しています。

○河川・砂防施設のバトロール

○損傷した堤防の補修

○護岸・根固等の点検及び補修

○油流入等による異常水質への対応

○堤防の除草

道路の除雪

河川施設の点検・補修

③ ダム

ダムの安全・正常な利活用のために、次のような業務を実施しています。

中禅寺ダム

施設運用

○洪水調節

・洪水時に中禅寺湖の水位を調節

○利水補給

・農業用水等の補給

○維持流量の供給

・河川環境の保全

○発電用水の補給

・下流発電事業者に対する発電用水の補給

○雨量等のデータの収集

施設管理

○各施設の点検・整備

○ダムの観測・計測

・貯水池の水位を計測

・地震時のゆれを計測

・雨量の計測

中禅寺ダム

ダムの種類

重力式コンクリートダム

ダムの高さ

6.4m

ダムの長さ

25.1m

ダムの体積

1,886m3

貯められる水の量

25,100,000m3

ダムの貯水池の面積

11.4km2

雨が湖に流れ込む区域

125km2

三河沢ダム

施設運用

○洪水調節

・洪水時にダム下流の水位を低減

○利水補給

・水道水の確保、農業用水等の補給

○維持流量の供給

・河川環境の保全

○雨量等のデータの収集

施設管理

○各施設の点検・整備

○ダムの観測・計測

・貯水池の水位を計測

・地震時のゆれを計測

・ダム基礎地盤から湧出する水の量を計測

・雨量の計測

三河沢ダム

ダムの種類

重力式コンクリートダム

ダムの高さ

48.5m

ダムの長さ

97.5m

ダムの体積

57,500m3

貯められる水の量

899,000m3

ダムの貯水池の面積

0.075km2

雨が湖に流れ込む区域

13.9km2

● 許認可事務

Licensing office

① 道路法

①道路占用許可

道路を使用(占用)する場合には、許可が必要となります。

②道路工事施行承認

道路の法面埋め立て、歩道切り下げ等による車両乗入口の設置、取り付け道路の設置等、県が管理する道路と関係する工事を行う場合には、承認が必要となります。

② 河川法

①河川占用許可

河川区域内において土地を使用(占用)する場合、工作物等の新築、土地の形状変更を行う場合、河川保全区域内において、工作物等の新築、土地の形状変更を行う場合には、許可が必要となります。

③ 砂防法等

次の区域内で制限行為(盛土切土等)を行う場合には、各法律に基づく許可が必要となります。

①砂防指定地(砂防法)

②急傾斜地崩壊危険区域(急傾斜地法)

③地すべり防止区域(地すべり等防止法)

④ 土砂災害防止法

土砂災害特別警戒区域内で特定の開発行為を行う場合には、許可が必要となります。

※各申請協議については、事前に連絡をお願いします。

栃木県 日光土木事務所

〒321-1414 栃木県日光市萩垣面2390-7
TEL：0288-53-1211(代表) FAX：0288-53-1218
ホームページアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/h53/index.html>
電子メールアドレス nikko-dj@pref.tochigi.lg.jp

● 管内概要図

Overview of Services Chart

● 管内概要

Summary of Services

日光土木事務所は県北西部の日光市を所管しています。

管内は、日光連山、足尾山地など山岳地帯が大半を占め、男体山に代表される多くの火山により多彩な自然と文化が形成されてきました。遍在する豊かな温泉、噴火により生じた中禅寺湖や華厳滝、戦場ヶ原の絶景は多くの人々を惹きつけています。山岳信仰の道を原型として整備されたいろは坂(国道120号)は、日本における先駆的観光道路であり、土木遺産に認定されています。

管内南東部には鬼怒川、大谷川の複合扇状地が広がり、その最上流に世界遺産日光の社寺が鎮座します。参詣道である日光街道(国道119号)、例幣使街道(国道121号)は、かつては江戸、京都と日光をつなぎ、現在も県内外を結ぶ幹線道路となっています。両街道沿いの日光杉並木は、日本で唯一特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受け、大切に保全されています。

自然と文化が一体となった地域の基盤は時代を超えて受け継がれ、人々を支えています。

● 日光土木事務所管内のデータと栃木県に占める割合						Statistics of Nikko City and Tochigi Prefecture	
区 分			栃 木 県 (A)	事務所管内 (B)	B／A (%)	調査年月日	
面積			6,408㎢	1,450㎢	22.6%	令和7年1月1日	
人口			1,877,867人	72,524人	3.9%	令和7年1月1日	
市町数			25市町	1市	－		
県管理 道 路	国道	路 線 数	12路線	7路線	58.3%		
		路 線 延 長	696,707km	186,456km	26.8%		
		路線舗装率	99.6%	98.4%	－		
		路線改良率	98.8%	98.4%	－		
	県道	路 線 数	291路線	33路線	11.3%	令和6年4月1日	
		路 線 延 長	2,829,635km	318,695km	11.3%		
		路 線 舗 装 率	96.6%	93.3%	－		
		路 線 改 良 率	88.7%	76.8%	－		
計（国道＋県道）			3,526,342km	505,151km	14.3%		
国道及び県道の永久橋			3,056橋	486橋	15.9%		
県管理 河 川	一級河川	河 川 数	292河川	64河川	21.9%	令和7年4月1日	
		河川延長	2,474.82km	417km	16.9%		
県管理ダム		ダ ム 数	7基	2基	28.6%	令和7年4月1日	
砂防指定地		箇 所 数	1,604箇所	619箇所	38.6%	令和7年1月31日	
		面 積	7246.34ha	3086.19ha	42.6%		
土砂災害警戒区域			9,710箇所	1,140 箇所	11.7%	令和7年1月31日	
県営住宅数			7,130戸	100戸	1.4%	令和7年4月1日	
都市計画区域			413,344ha	48,243ha	11.7%	令和7年4月1日	

令和7(2025)年度

日光土木事務所ガイド

いろは坂(紅葉)

湯西川かまくら祭り

鬼怒川公園駅前桜

日光杉並木街道

日光杉並木は令和7(2025)年度で

植樹400年を迎えます

2025 Information Guide

● 日光土木事務所の執行方針

令和7(2025)年度

Enforcement Policy

日光土木事務所の管轄する日光市は、奥日光の湿原に代表される豊かな自然、世界遺産「日光の社寺」や杉並木など、多くの歴史的・文化的資源が存在しており、国内外から多くの観光客が来訪し、本県の観光を牽引しています。一方、山間部の厳しい地形や気象条件に加え、近年急速に人口減少が進む中、住民や観光客の安心・安全の確保、観光や地域の活性化などが課題となっています。

以上を踏まえ、栃木県重点戦略である「とちぎ未来創造プラン」、「県土づくりプラン2021」に基づき、日光土木事務所が目指す将来像として、次の理念を掲げます。

理 念

人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“日光”

中長期的展望に即した施策を実現するため、以下の重点戦略により、効率的かつ効果的に県民目線に立って事業を着実に実施していきます。

重点戦略

①「住民がいつまでも快適で安心して暮らせる地域」

②「災害に強くなりなやかで、たぐいましい地域」

③「観光立県とちぎを牽引する、質の高い“国際観光都市 日光”」

重点的に取り組む施策

(1)人と物の活発な交流を促進し産業を支える道路網の整備推進と渋滞対策の実施

●道路改築事業(国道121号 文挾BP、国道120号 清滝、国道461号 大渡等)

●世界遺産地区及び中宮祠地区における渋滞対策(渋滞情報提供による迂回誘導、事務所駐車場閉庁日開放、情報発信の強化による認知度の向上等)

(2)住民や観光客の生命と財産を守る災害に強い地域づくりの推進

●直轄権限代行(日光川治防災)を含めた道路防災事業(国道121号 川治BP)

●道路改築事業(川俣温泉川治線 若間等)

●防災事業(国道121号 五十里)

●河川事業(田川土沢)

●砂防事業(下小綱中沢、上鉢石町A、赤沢A等)

(3)高齢者や子供などすべての人が安心して安全に暮らせる地域づくりの推進

●交通安全施設事業(宇都宮今市線 小代等)

●道路改築事業(鹿沼日光線 東小来川北等)

(4)国際観光都市として良好な景観を形成し魅力ある街並みの創出

●道路改築事業(国道119号 日光東町地区)

●街路事業(〔都〕平町東町線外 下今市)

(5)国特別史跡・特別天然記念物である日光杉並木街道の保護

●道路改築事業(国道121号 文挾BP)の推進

(6)道路や河川砂防・ダム施設の適切な管理保全、安心で安全なサービスの提供

●バトロールや構造物点検等、予防保全による管理施設の維持・長寿命化

職場づくりの取組

① 一人ひとりの個性を尊重し挑戦する気持ちを伸ばし、組織として高いパフォーマンスを発揮できる職場づくり

② 時間に対する意識を高め、ワークライフバランスの充実が図れる職場づくり

③ 「働きがいのある職場」の創造

・成長と成果を感じられる職場

・風通しの良い職場

・業務の偏りが少ない職場

● 日光土木事務所の組織体制

Organizational Structure

所 長

次長(事務)

次長(技術)

管 理 部 長 — 総 務 課

企画調査部長 — 企画調査課

用 地 部 長 — 用 地 課

整 備 部 長 — 整備第一課

保 全 部 長 — 保全第一課

中禅寺ダム管理所

三河沢ダム管理所

保全第二課

保全管理課

※1 管理部長を兼務

※2 企画調査部長を兼務

職 員 数 63人

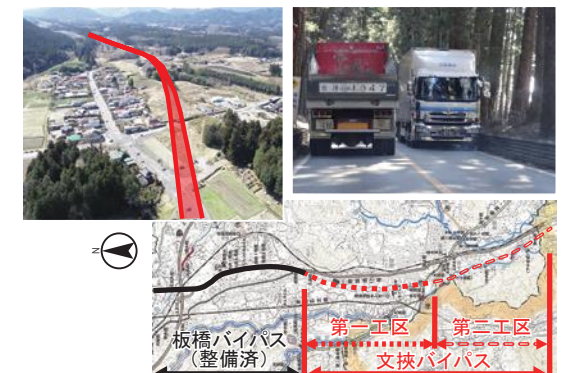
(事務職員19名、技術職員38名、現業職員6名)

その他職員 13人

(用地事務支援員2人、道路河川監視員6名、ダム監視員2人、業務支援員2人、事務補助員2人)

道路事業 ①国道121号（日光市文挾バイパス）

快適で安全な道づくり事業（令和元(2019)年着手）
・《第一工区》L=3,500.0m W=14.5 (6.5) m
本事業は、板橋バイパスから鹿沼市に通じるバイパスを整備するものです。現道幅員は、狹隘で歩道もない状況であるため、走行性の改善、交通安全の確保、自然災害に強い道路網を形成し、杉並木の生育環境の負荷低減を図ります。



道路事業 ②国道120号（日光市清滝）

快適で安全な道づくり事業（平成30(2018)年着手）
・L=2,400.0m W=11.0m
本事業は、日光宇都宮道路清滝ICから細尾大谷橋交差点間まで道路の拡幅整備をするものです。行楽期に著しい交通渋滞が発生しているため、現在2車線の道路を段階的に拡幅し、車線数を増やすことで、交通渋滞の緩和を図ります。



道路事業 ③川俣温泉川治線（日光市若間）

快適で安全な道づくり事業（平成28(2016)年着手）
・《1期工区》L=1,820.0m W=8.0 (5.5) m
本事業は、道路ネットワークの強化と交通の安全性の向上を図るため、トンネルによるバイパスを含む現道拡幅整備を行うものです。現道は、幅員が狹隘で屈曲した箇所が多く、また急峻な地形で落石が頻繁に発生するなど、一般車両の通行に支障をきたしているため、これの解消を図ります。



道路事業 ④国道121号（日光市五十里）

土砂災害対策道路事業（平成9（1997）年着手）
・L=3,000.0m W=6.5m
本事業は、道路防災点検において要対策とされた箇所の災害防除工事を実施するものです。道路上への落石等を未然に防ぎ、道路の安全性向上を図ります。



道路事業 ⑤川俣温泉川治線（日光市新熊野沢橋）

道路保全事業（令和4(2022)年着手）
・L=70.8m W=5.1m
本事業は、橋梁定期点検において早期措置が必要とされた箇所の補修工事を実施するものです。新熊野沢橋は架設から59年が経過しており、老朽化した床版の更新を行うことで橋梁の長寿命化及び道路の安全性向上を図ります。



道路砂防事業 ⑥国道119号（日光市上・中、下鉢石町（道路事業））
上鉢石町 A（日光市上鉢石町（急傾斜地崩壊対策事業））

道路とがけ地が近接しているため、道路事業と砂防事業を一体的整備を行うことにより、交通と人命財産の安全を確保し、「観光まちづくり」を支援します。

快適で安全な道づくり事業
・下鉢石町：L=250.0m W=17.0(6.5)m（平成30(2018)年着手）
・上・中鉢石町：L=420.0m W=17.0(6.5)m（令和6(2024)年着手）



道路事業 ⑩渋滞対策（二社一寺、中宮祠周辺）

渋滞対策事業（平成27（2015）年着手）
行楽期において、二社一寺周辺及び中宮祠周辺で著しい渋滞が発生しています。そのため、開設した無料臨時駐車場への迂回誘導等により、主要道路の交通量を分散させることで、公共交通機能の確保及び交通渋滞の解消を図ります。



街路事業 ⑪3・4・20平町東町線（日光市下今市）

街路づくり事業（平成25(2013)年着手）
・L=620.0m W=20.0 (6.0) m
本事業は、J R 今市駅と東武下今市駅間を利用する自転車・歩行者の快適で安全な通行のため、電線類の地中化と車道の拡幅、歩道を整備するものです。現状、道路幅員が狭く歩道もないため、本事業により、快適で安全な都市内幹線道路を整備するものです。



砂防事業 ⑦赤沢A（日光市足尾町）

急傾斜地崩壊対策事業（令和3(2021)年着手）
・L=560.0m
本事業は、足尾町の急傾斜地（斜面勾配 約32度～40度、高さ約44m～166m）において、急傾斜地崩壊対策として斜面对策工を実施するものです。これにより、がけ崩れによる被害から人家、鉄道等を守ります。



砂防事業 ⑧一級河川砥川外（日光市佐下部外）

砂防メンテナンス事業（令和4(2022)年着手）
・砥川堰堤（H=11.0m W=20.0m）
・栗原堰堤（H=10.5m W=37.5m）
・七久保堰堤（H=15.2m W=46.0m）
本事業は、栃木県砂防関係施設長寿命化修繕計画に基づき、土石流に対する安全性及び安定性を向上させるため、既存の砂防施設を修繕・改築するものです。



河川事業 ⑨一級河川田川（日光市土沢）

安全な川づくり事業（平成25(2013)年着手）
・L=6,000.0m
本事業は、台風や集中豪雨など河川の氾濫による被害から県民の生命・財産を守り、安心で安全な暮らしを確保するため、川幅を拡幅するものです。



令和6（2024）年度の主な成果

Major achievements

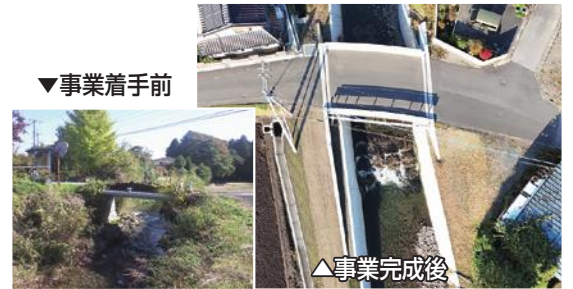
道路事業 ①国道122号（日光市神子内橋（旧））

道路保全事業
・L=47.0m W=5.5m
昭和9年架橋のコンクリートアーチ橋である「神子内橋（旧）（日光市足尾町）」で、橋梁定期点検を行ったところ床版や高欄等に損傷が確認されました。特にアーチリブは著しく損傷劣化が進行しており、解体時の崩壊が懸念されたため、橋梁撤去工を実施しました。解体作業時の安全確保と工期短縮を図るため、「全面支保工併用クレーン分割撤去工法」により解体を行い、老朽化による落橋・損壊防止に寄与しました。



河川事業 ②一級河川田川（日光市土沢 下阿久戸橋）

安全な川づくり事業
・L=11.5m W=6.5m
継続中の一級河川田川の整備事業のうち、田川にかかる市道橋下阿久戸橋において、河川改修に併せて架け替えを実施しました。これにより川幅を拡げることで、河川の氾濫に対する安全性が向上しました。



道路事業 ③国道400号（日光市上三依地内）

道路保全事業
・L=194.0m W=7.0m
本事業は、雪寒地域である日光市上三依地内において、多機能型排水性舗装（凍結抑制機能付）を施工しました。これにより、緊急輸送道路である国道400号の冬期における安全な交通を確保しました。



道路事業 ④小来川清滝線（日光市滝ヶ原）

土砂災害対策道路事業
・L=69.0m W=3.5m
一般県道小来川清滝線に面した、表層崩壊・落石の恐れのある箇所において、斜面を安定させる法面工事を行いました。これにより、安心で安全な交通を確保しました。



道路事業 ⑤国道122号（日光市神子内）

快適で安全な道づくり事業
・L=190.0m W=10.0m
本事業は、国道122号足尾地区において設計速度に対し、カーブ半径が不足する箇所の線形改良を行いました。これにより、安心で安全な交通を確保しました。

